

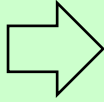
# 農地集積・集約を推進し、スマート農業技術を活用する農業法人 ～（有）明治トラクター（愛知県稲沢市）～

## 経営体の概要

平成23年

基幹作物：水稲（主食用米）

経営面積：170ha



令和3年

基幹作物：水稲（主食用米、飼料用米）、小麦

経営面積：200ha

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

昭和42年に設立し、水田の全面作業を受託している。国営事業により用水が安定供給されるほか、農業用水路の支線がパイプライン化されたことで生活用水の流入等が防止され水質が改善し、安定した生産が維持されている。主食用米から飼料用米や麦への転換による作期分散、不耕起V溝直播栽培やスマート農業技術の導入、広範囲に散在していた狭小農地の集積・集約化により省力化を図っている。また、飼料用米の出荷先から購入した鶏糞を水田に肥料として施用することで畜産農家と連携し、資源の循環に取り組んでいる。

## 営農改善のポイント

### ①土地利用調整

J Aや農地中間管理機構を通して土地利用調整を円滑に進め、利用権設定を行っている。かつてはそれぞれの耕作農地が小さく、稲沢市とあま市の2市に加え西春日井郡まで広範囲に散在しており、多大な時間と労力を要していたが、地主や担い手と話し合い、耕作権の移転等により、全ての耕作農地を2市にまとめた。さらに、2市の中でも分散していた耕作農地の一部をひと固まりにし、集約した面積を平成23年度の約50haから約120haに増加させた。



明治トラクターの皆さん

### ②省力化

主食用米から飼料用米への転作を推進し、主食用米の刈り取りを飼料用米より優先することで、主食用米の品質を落とすことなく、作業を平準化させている。

愛知県が不耕起V溝直播栽培技術を普及し始めた当初に、その技術を導入した。冬にV溝直播ほ場の準備を行い、育苗～田植え時期の労働時間を削減し約3割の省力化を実現している。

スマート農業技術を活用し、ドローンによる殺菌剤や除草剤等の効果的な散布や、農作業記録の自動化を実現している。また、スマホ画面でほ場位置や作業進捗を確認できることから、約1000筆もの耕作農地を効率的に管理している。



V溝直播機による播種作業

## 事業概要

事業種：国営総合農地防災事業

関係市町：岐阜県岐阜市外2市2町及び  
愛知県名古屋市外12市5町

受益面積：10,139ha

事業期間：平成10年～令和9年

事業目的：農業用排水施設の機能回復

主要工事：頭首工改修1箇所 用水路改修 L=32.4km  
排水路改修 L=27.3km

## 位置図



## <問い合わせ先>

東海農政局

農村振興部農地整備課  
課長補佐(競争力強化事業推進)・営農指導係  
電話：052-223-4638

(令和3年度調査時点)